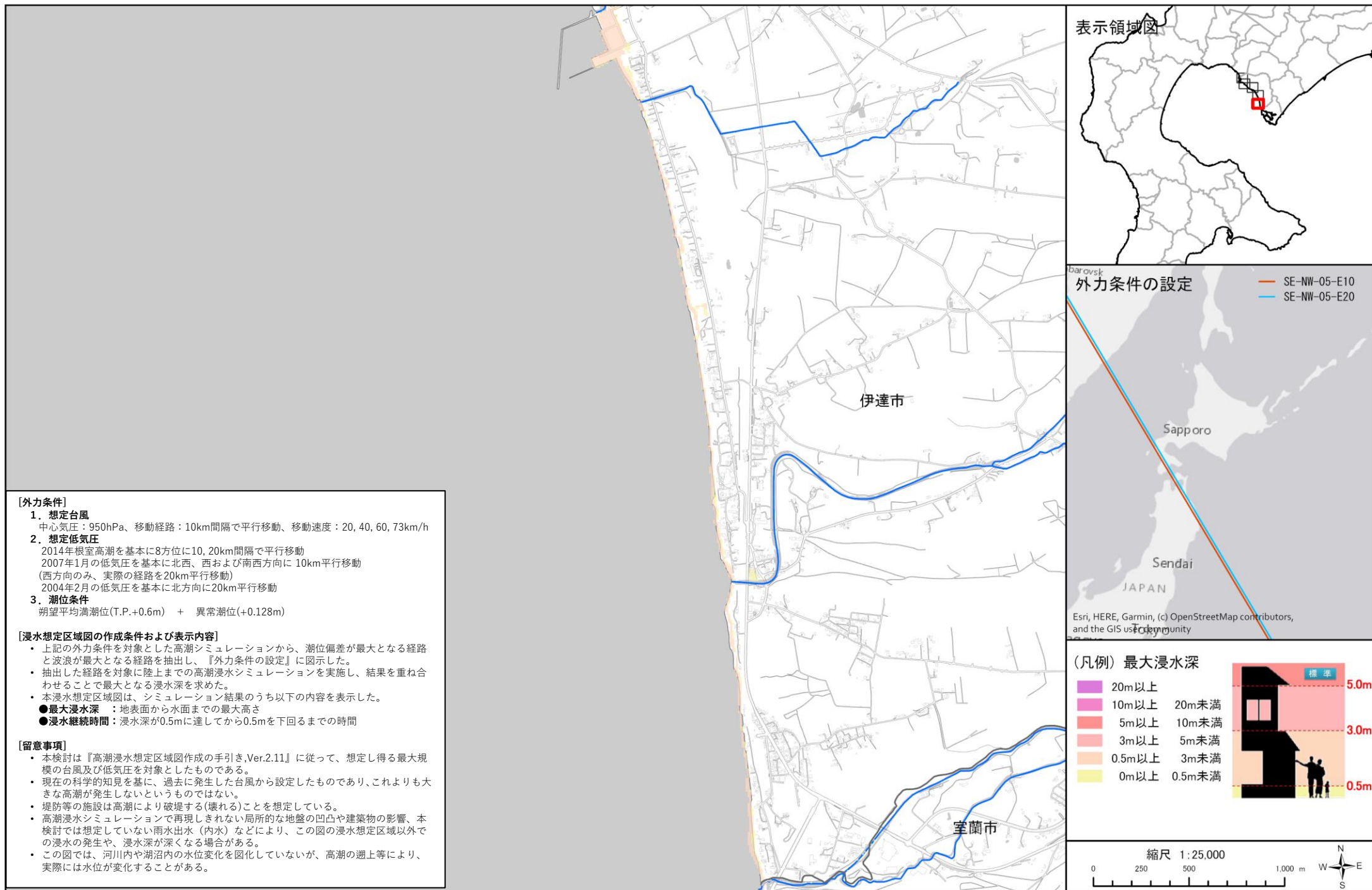
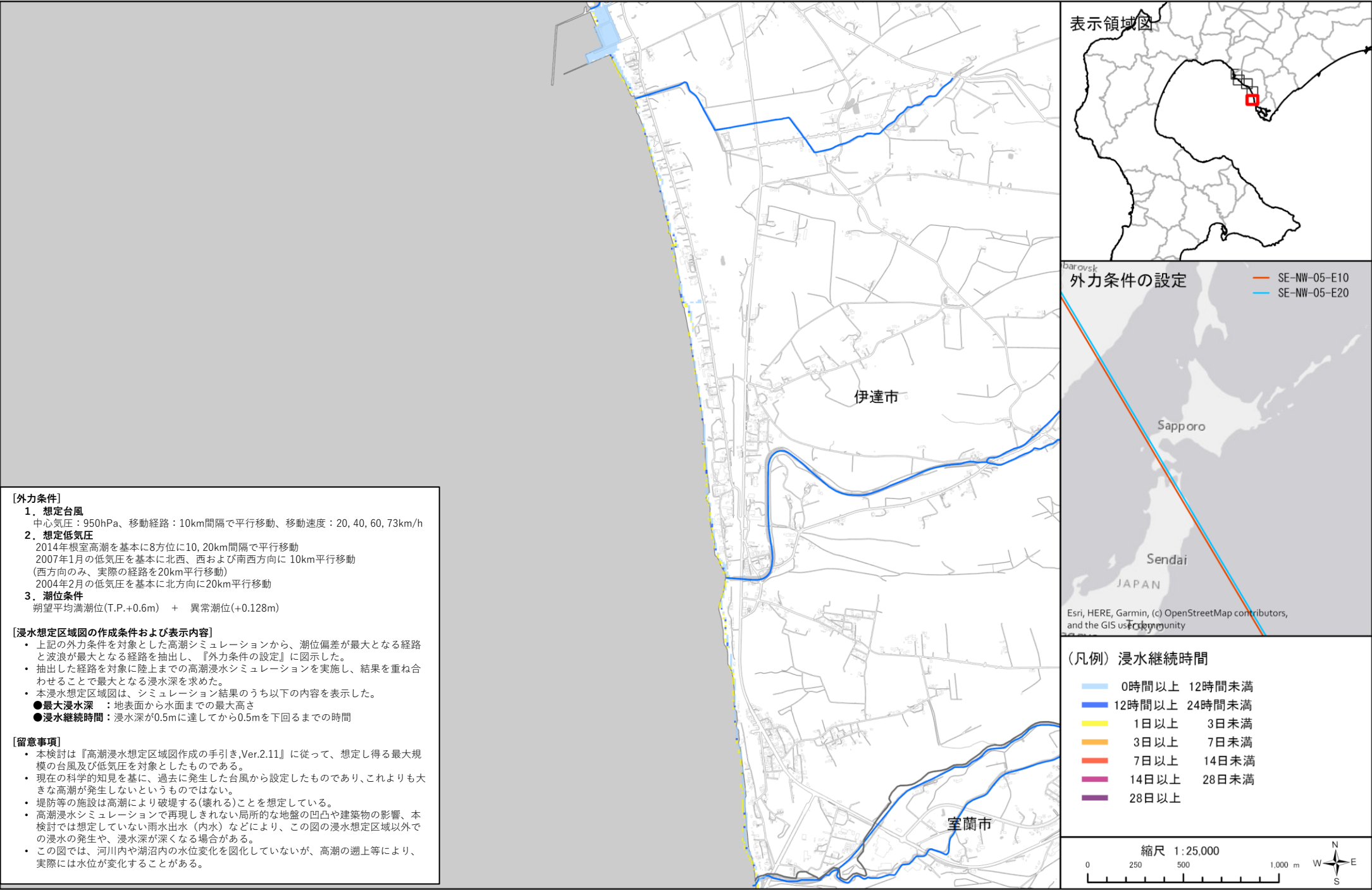


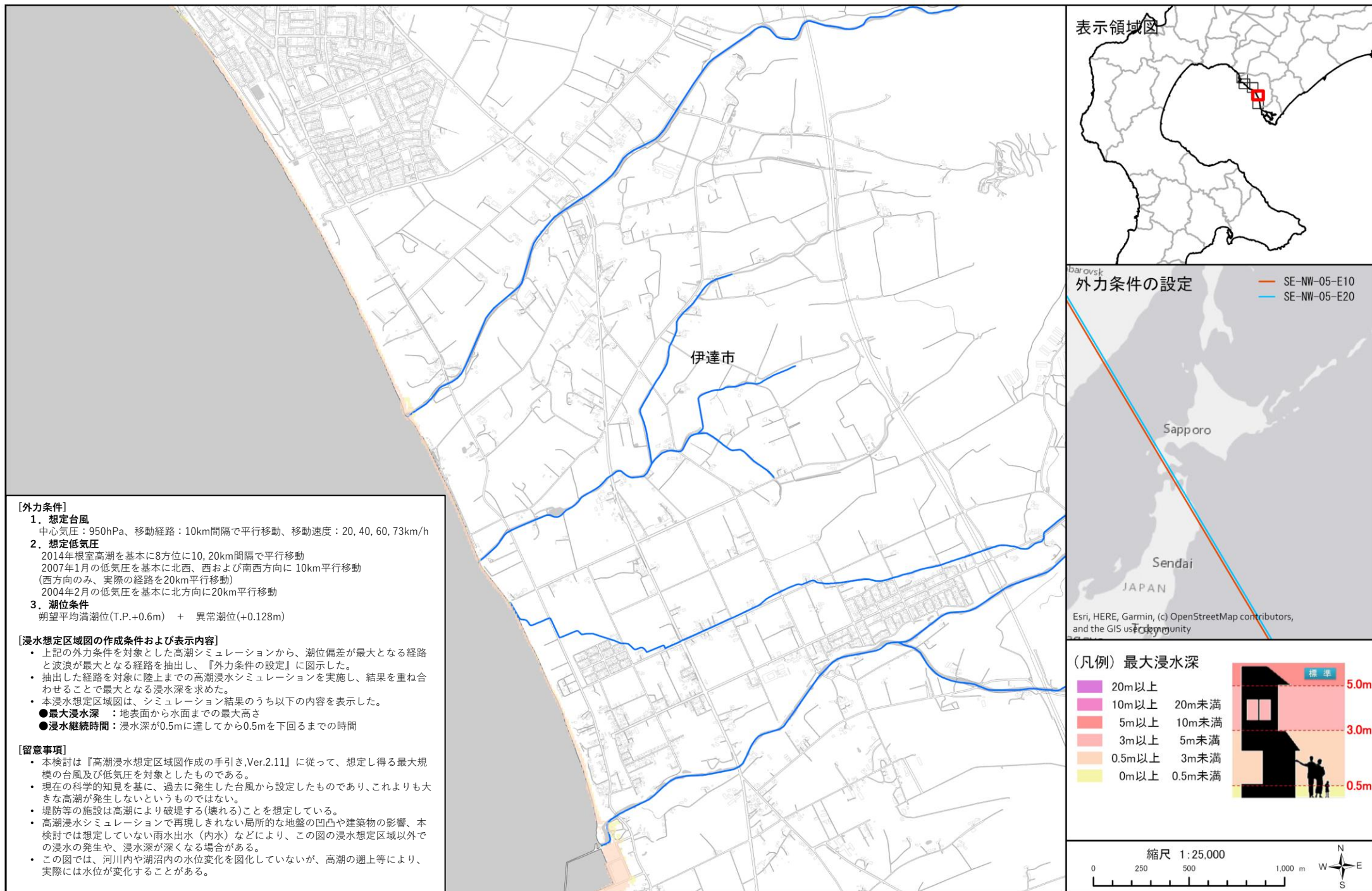
高潮浸水想定区域図（浸水深）【伊達市 1/ 5】



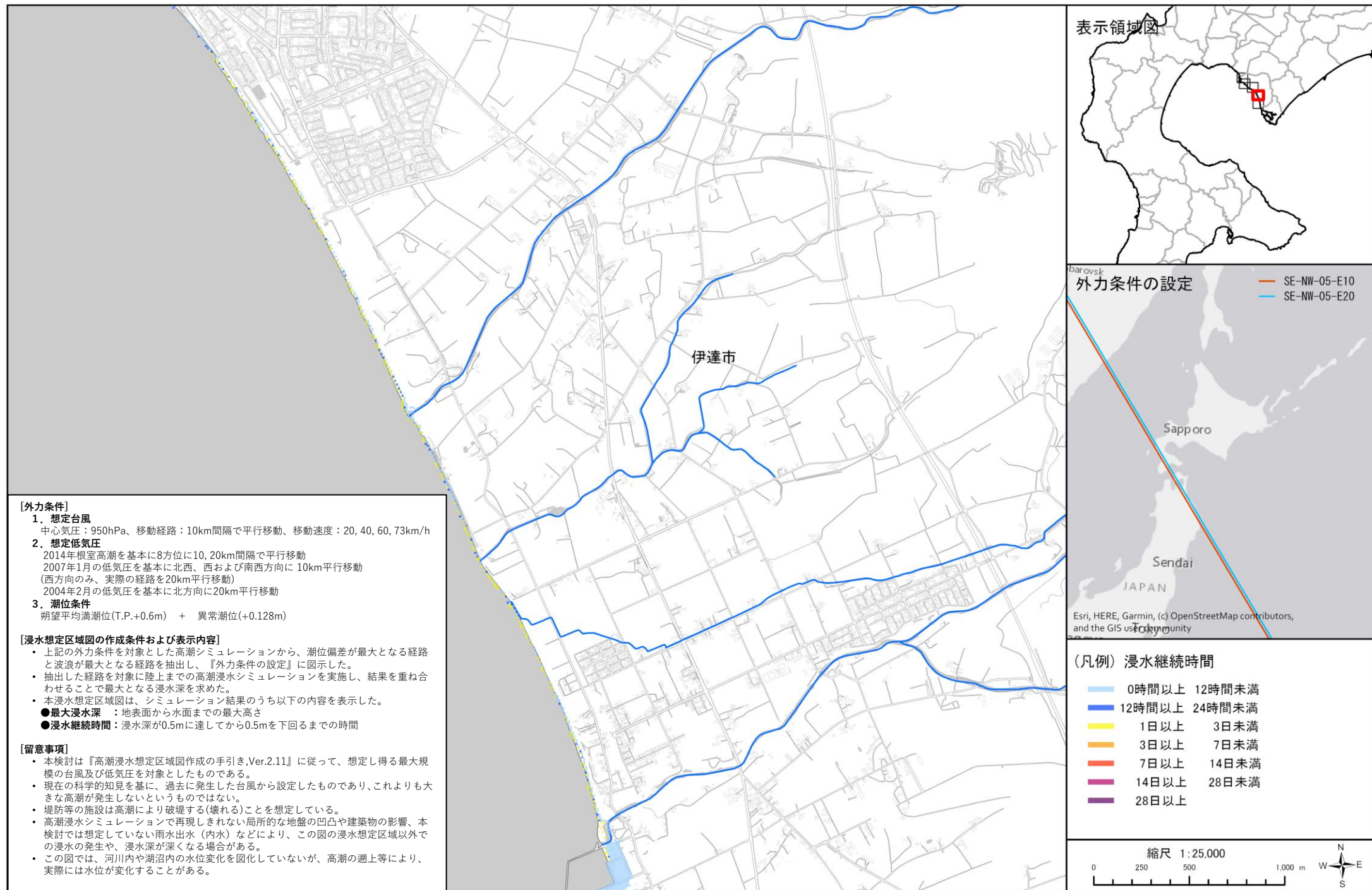
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【伊達市 1/ 5】



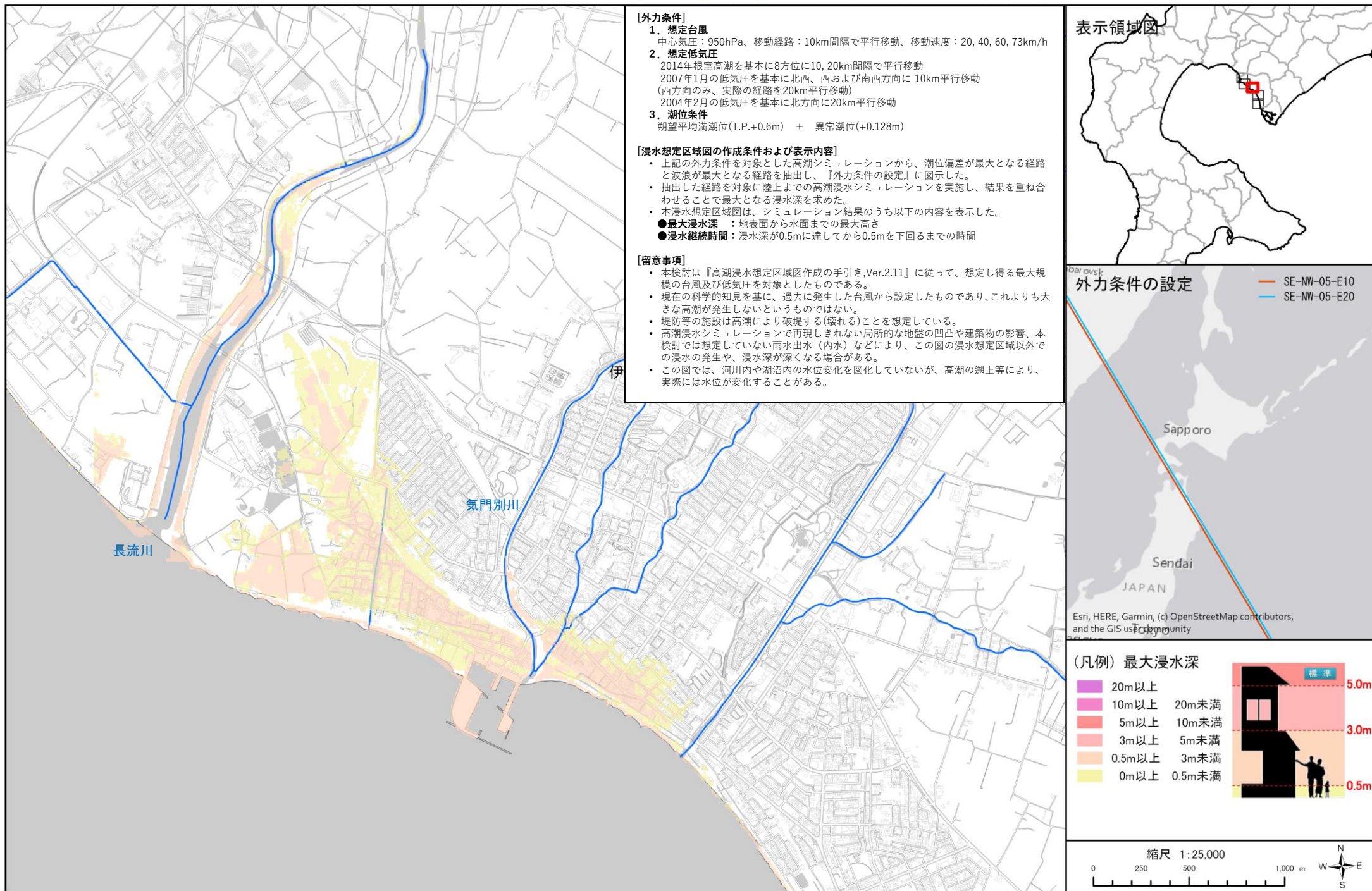
高潮浸水想定区域図（浸水深）【伊達市 2/ 5】



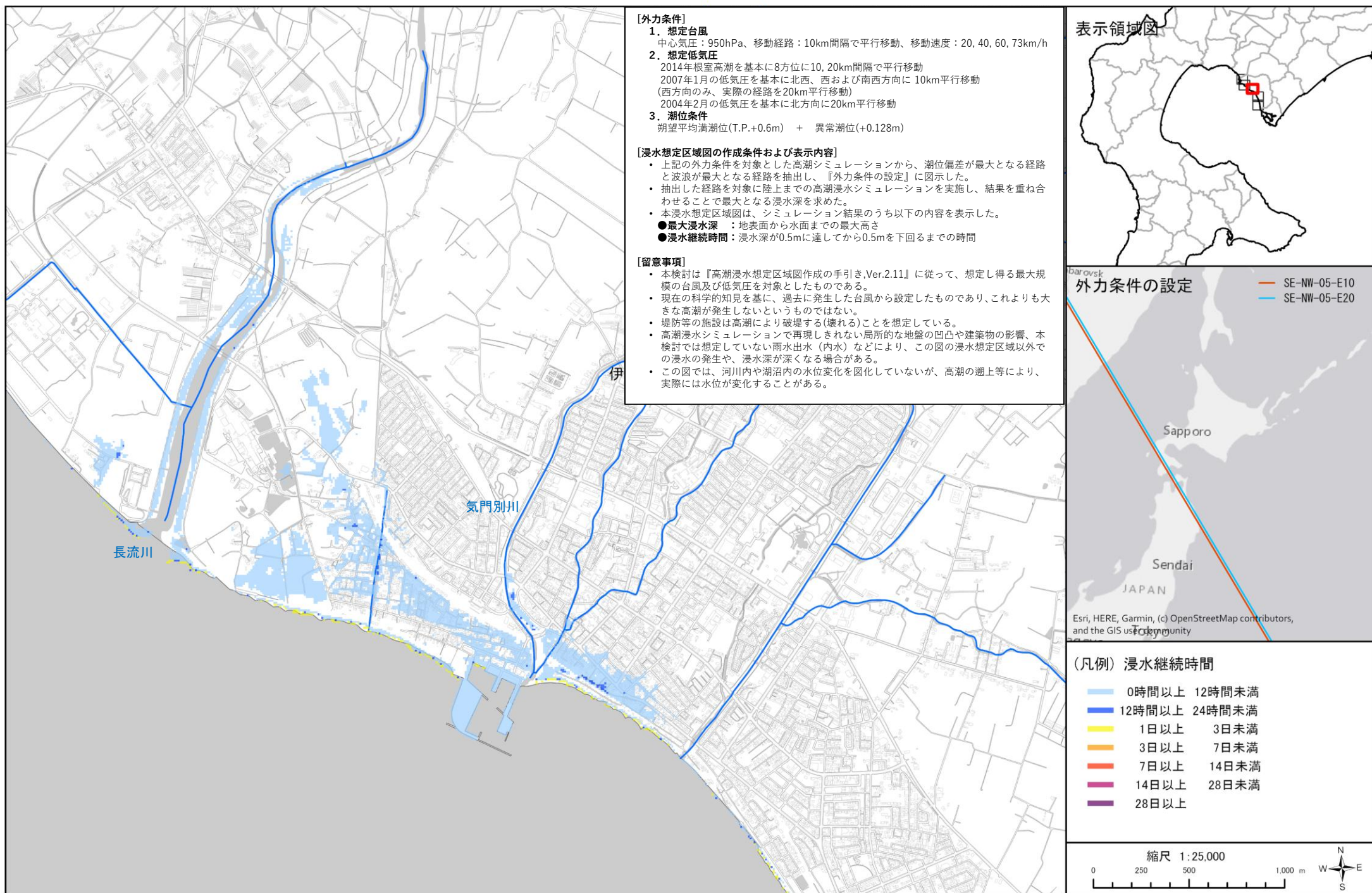
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【伊達市 2/ 5】



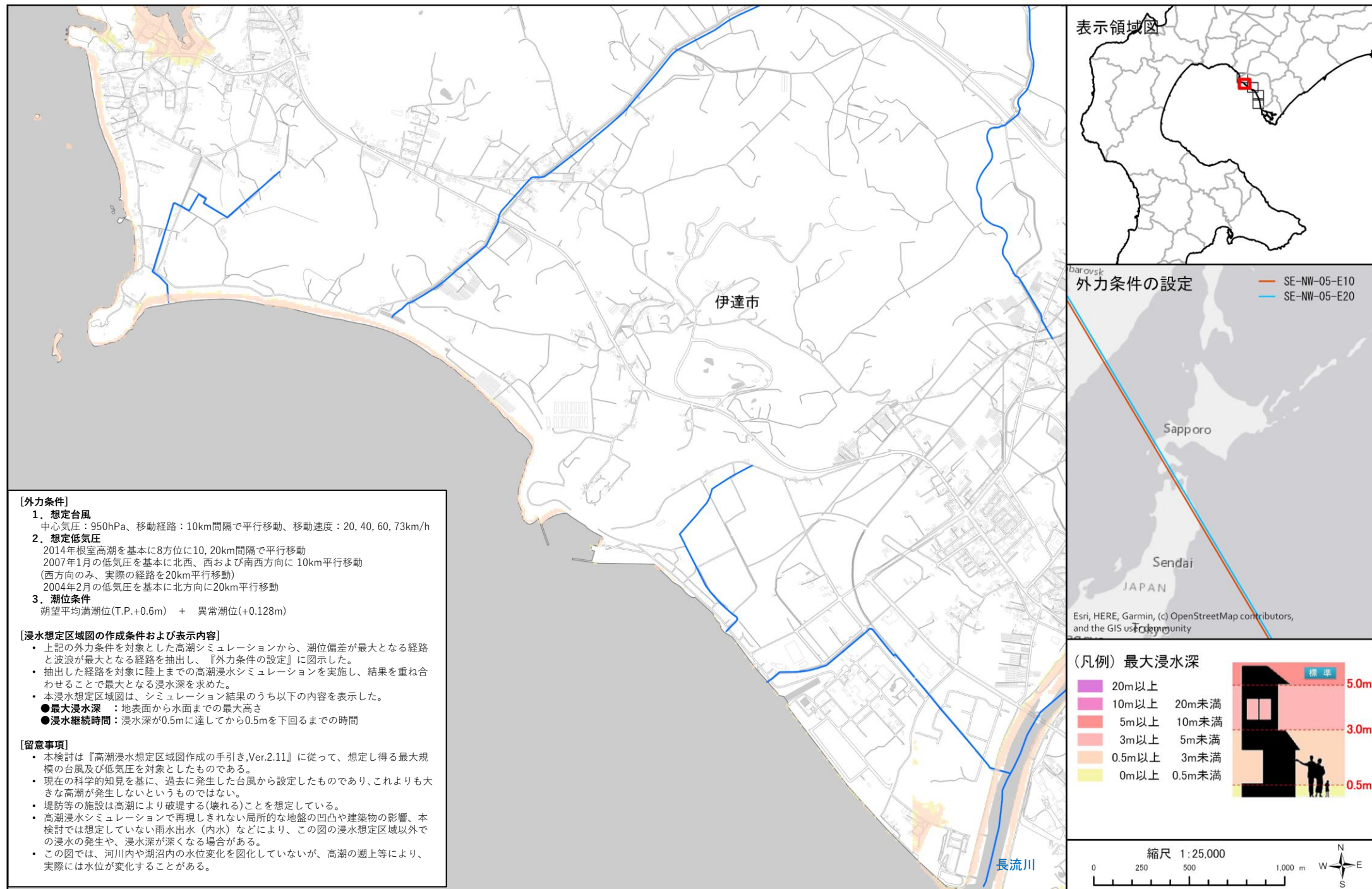
高潮浸水想定区域図（浸水深）【伊達市 3/ 5】



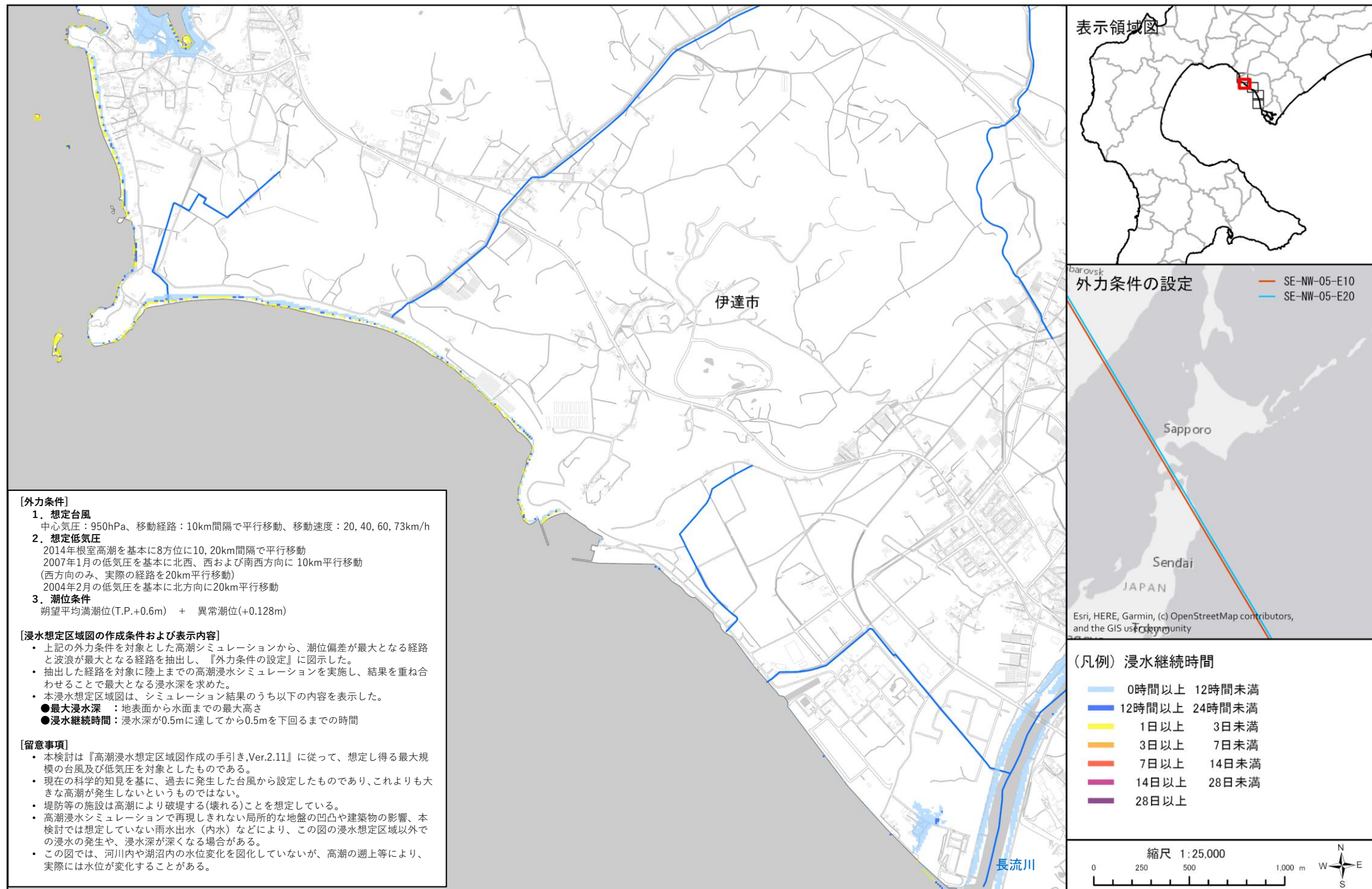
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【伊達市 3/ 5】



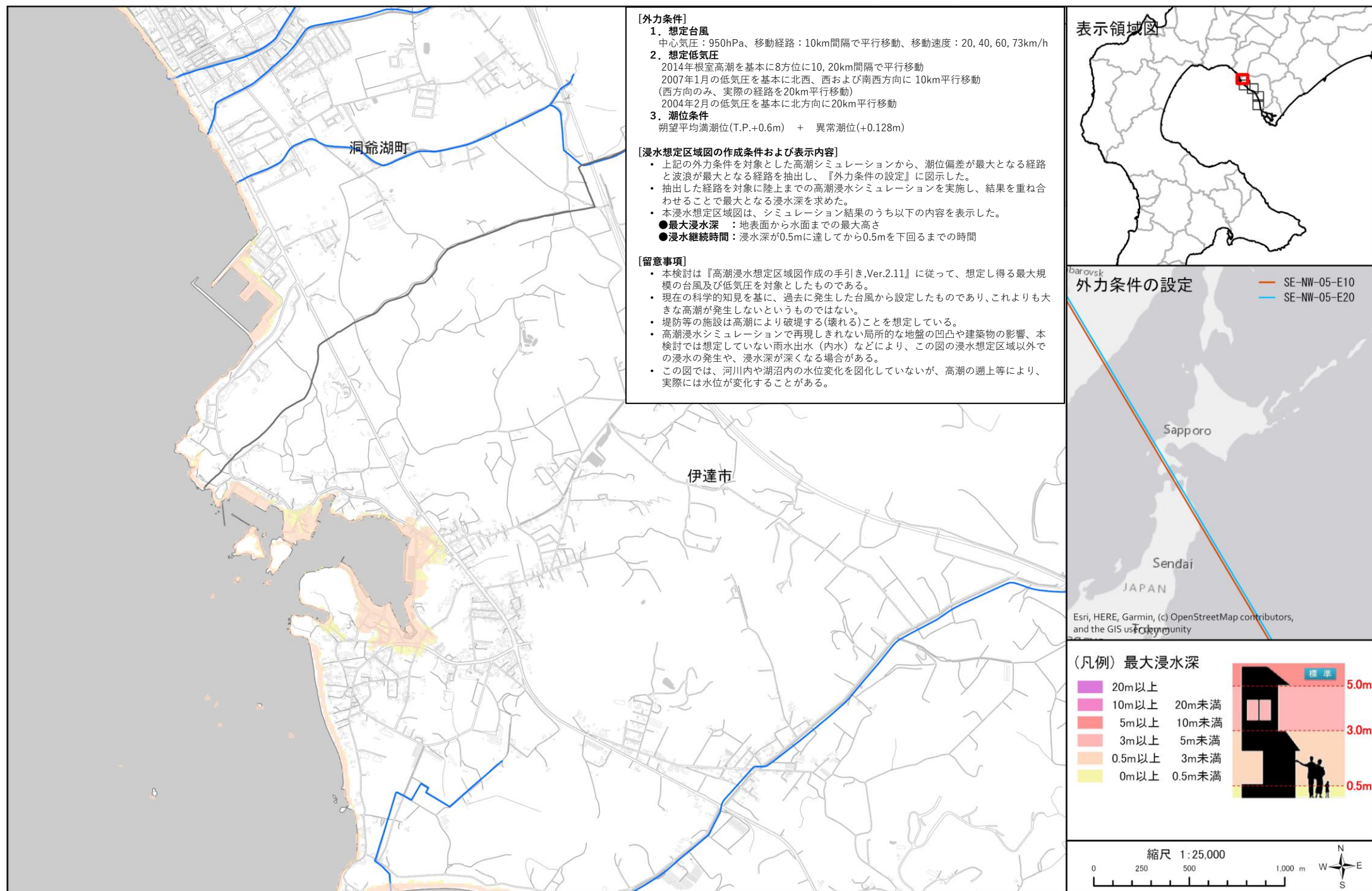
高潮浸水想定区域図（浸水深）【伊達市 4/ 5】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【伊達市 4/ 5】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【伊達市 5/ 5】



【外力条件】

1. 想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20、40、60、73km/h

2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10、20km間隔で平行移動

2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動
(西方向のみ、実際の経路を20km平行移動)

2004年2月の低気圧を基本に北方向に20km平行移動

3. 潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。

・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。

・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

●最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ

●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

【留意事項】

・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。

・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。

・堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。

・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。

・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【伊達市 5/ 5】

